

平成 21 年度 第 7 回教育研究評議会議事録

日 時 平成 21 年 11 月 18 日 (水) 14 時 30 分～17 時 15 分

場 所 情報学部大会議室

出席者 興、山本義、中村高、西村、満井、南、露無、舩橋、佐藤、三橋、今野
石井、原田、山本章、伊東、酒井、荒川、村井、青山、増田、柳澤、
東郷、佐古、高木、鈴木、渡邊修、永津、渡邊尚、田中、三村、加藤の
各評議員

欠席者 なし

陪席者 大戸、塩田の各監事
野田、中村和、太田の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

平成 21 年度第 6 回教育研究評議会議事録 (案) を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学ヒトを対象とする研究に関する規則の制定について

中村高委員から、前回の企画・調整会議 (平成 21 年 11 月 4 日 (水) 開催) に
おいて本日の教育研究評議会にて審議することを承認した、標記規則の制定に
ついて、同会議後、人文学部から倫理上の問題があるとの意見があったため、
人文、情報、理学、農学の各学部の関連分野の教員によるワーキンググルー
プを設置し、同規則の検討を行い、あらためて審議に付すこととしたいとの
提案があり、審議の結果、これを承認した。

なお、同委員から、今年度内には標記規則を制定したいとの発言があった。

2 慶北大学校 (大韓民国) とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結 について

露無委員から、標記特別プログラム覚書締結の趣旨及び授与する学位等に
ついて、資料 2 により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 教育研究等組織の整備について

山本義委員及び中村高委員から、これまで総合戦略会議及び「学部教育組織
改組等検討作業部会」等、4 つの作業部会における組織整備の検討状況につ
いて、資料 3-1、3-2 及び参考資料により説明があった。

続いて、種々意見交換を行い、本件については引き続き各部局から意見を
募るとともに、次回本会議においても審議することとした。

(意見交換で出された主な意見)

①法務研究科は「所要の措置」を構ずる、とされているが、措置の中身を
明示願いたい。

- ②進むべき方向性を明確にし、将来に期待がもてるメッセージが欲しい。
- ③定めた目標を実現するための「手段」とセットでないと、組織再編は進まない。
- ④構想案の中からは、学生の姿が見えない。学生目線が必要ではないか。
- ⑤全ての作業部会における議論の内容が示されないと、部局での説明ができない。

なお、複数の委員から、「教育研究等組織の見直しに関する素案」の今後の取扱いや、組織整備の実現に向けたプロセスについて質問が出され、議長から、①次期（第二期）中期目標・中期計画の措置事項の根幹を成すのが教育研究組織であり、平成22年度の年度計画策定時(今年度末)には、次期6年間の教育研究等組織の基本設計を定める必要があること、②組織整備等の目的に加え、なぜ整備が求められるのか、その必然性にかかるメッセージが重要であること、③個々の組織整備等のプランが、次期中期目標・中期計画のどの部分に立脚しているものか、明示する必要がある等の発言があった。

また、議長から、11月16日(月)・17日(火)の両日にわたって行われた、大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価にかかる訪問調査で、同機構審査委員から、「静岡大学の教育の特徴が見えない」との指摘を受けたことから、今後、本学としての教育の特色を出すことが求められる、との発言があった。

Ⅲ 報告事項

1 企画・調整会議審議事項

- (1) 第二期中期目標・中期計画（案）に係る全学的措置事項について

議長から、第二期中期目標・中期計画（案）に係る全学的措置事項について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された旨、報告があった。

- (2) 静岡大学男女共同参画行動計画の策定について

船橋委員から、標記行動計画の策定について、資料5により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された旨、報告があった。

- (3) 女性研究者（教育者）採用加速システム実施要項の制定について

議長から、標記実施事項について、資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された旨、報告があった。

2 第二期中期目標・中期計画の素案の修正について

山本義委員から、前回本会議で承認された、第二期中期目標・中期計画の素案の修正（2点）について、11月6日(金)に国立大学法人評価委員会において承認された旨、報告があった。

3 平成20年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

南委員から、標記評価の結果について、資料7により説明があり、「課題」とされた事項のほか、今期中期目標・中期計画の完遂が必要であり、各部

局等に対し、遺漏のないよう対応願いたいとの要請があった。

さらに、同委員から、さき(11/16, 17)に行われた大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価にかかる訪問調査で、評価委員から「学部等がGP等の取り組みを行っていることは評価できるが、大学全体としての取り組みが見られず、静岡大学の教育の特徴が見えない」、「在学生や修了生への面談を通じ、本学の学生は他分野に対する関心が他大学学生に比べて低い印象を受けた」等との指摘を受けた旨、報告があった。

4 静岡大学タイ事務所（タマサート大学内）の設置について

露無委員から、11月10日(火)にタマサート大学内において、本学タイ事務所の開所式を行った旨、報告があった。

5 静岡大学学術リポジトリの今後の展開について

加藤委員から、学術リポジトリの現状と課題について、資料8により説明があり、リポジトリへの登録者数が、各部局3分の1以内の協力しか得られていないことから、多数の参加をお願いしたい旨、各部局等に対し協力要請があった。

6 平成22年度科学研究費補助金の申請状況について

中村高委員から、標記補助金の申請状況について、資料9により報告があり、申請率の目標値としていた文系60%、理系90%を達成した旨、発言があった。

7 教員の採用等報告について

議長から、人文学部1件、法務研究科1件、電子工学研究所2件の教員の採用等について、資料10により報告があった。

なお、南委員から、大学評価の見地から、「採用の理由」については、単に「教育研究内容が合致するため」ではなく、より詳細な内容となるよう、補完願いたいとの要請があった。

8 叙位・叙勲について

議長から、名誉教授(電子工学研究所)萩野實氏が瑞宝中綬章(秋の叙勲)を、名誉教授(教育学部)藤田忠男氏が正四位の叙位を受章されたことについて、資料11により報告があった。

IV その他

○連絡事項

1 就業規則の一部改正等について

2 平成21年度以降の教職員に対する期末手当、勤勉手当の支給割合等の改定について

渡部総務部長から、標記規則等の改正及び改定について、資料12及び資料13により説明があり、本件は、11月30日(月)開催の経営協議会において審議の後、同日開催の役員会で審議する予定である旨、発言があった。

○シンポジウム等の開催案内等

- 1 ブラウンシュバイク工科大学とのダブルディグリープログラム合同フォーラム
渡邊修委員から、標記シンポジウムについて、資料14により案内があった。
- 2 平成21年度東海地区大学教育研究会研究大会
山本義委員から、標記研究大会について、資料15により案内があった。
- 3 その他
西村委員から、過日(11/15)、浜松キャンパスで開催されたホームカミングデーの実施に対して謝辞があったほか、11月22日(日)に実施される静岡キャンパスでのホームカミングデーへの協力要請があった。

以 上